

駐屯地鉄塔からみた筑波山



陸上自衛隊武器学校



地 屯 駐 浦 土

駐屯地鉄塔からみた霞ヶ浦



G.S.D.F. Ordnance School

土浦駐屯地武器学校

駐屯地の沿革

土浦駐屯地は、大正10年霞ヶ浦海軍航空隊水上班として開隊され、昭和15年には土浦海軍航空隊と改名し、旧帝国海軍のパイロットを育成するため、海軍飛行予科練習生(予科練)の教育訓練を終戦まで担任していた歴史ある駐屯地です。

現在は、陸上自衛隊武器学校が使用しており、約500名の職員で陸上自衛隊の装備する武器(自動車・戦車・装甲車・大砲・機関銃・小銃・弾薬・ミサイルなど)の整備及び専門技術(鍛造溶接など)教育並びに兵站職域の上級指揮官・幕僚の運用教育等を実施しており、毎年約1000名の隊員が学校を巣立ち、全国各地の自衛隊で活躍しております。

駐屯地	旧軍		民間	警察予備隊		保安隊	陸上自衛隊					
	S15	S20~21	S21~25	S27.1	S27.9	S28.1	S29.7	S33.6	S34.8	H11.4	H13.3	H19.3
武器学校・教導隊	土浦海軍航空隊	米軍接收	日本体育専門学校	総隊武器学校開校 立川	土浦駐屯地開設 武器学校移駐	教育開始	陸上自衛隊武器学校に改称	企画室設置1室3部制	武器教導隊編成完結	幹部特修課程兵站教育開始	研究部改編	2個教育部制改編



現在の正門

旧本館・初代雄飛の松



昭和15年当時の駐屯地



諸外国陸軍の武器科職種に共通的に使用されている火炎弾のシンボルマークと武器科の汎用工具であるスパナを組み合わせ、武器科の職務と日本の武人の勇猛さを象徴する兜を模して

学生教育



教育訓練



時間差訓練

各種訓練を実施して、自衛官としての体力・気力を練磨し、質実剛健の気風を養っています。

格闘検定



武器教導隊競技競技会



教育支援



野外訓練



防災訓練参加



広報・行事

雄翔館



予科練二人像

「若い血潮の予科練の～」と、知られる土浦海軍航空隊は、終戦を迎える昭和20年まで、海軍飛行予科練習生(予科練)教育揺籃の地でした。入隊者の総数は、全国(阿見、三重、岩国、松山など)で約24万人、そのうち卒業者は約2万4千人であり、戦死者は卒業者の8割、約1万9千人を数えています。

昭和41年、予科練の碑「予科練二人像」が、昭和43年には予科練記念館「雄翔館」が建立されました。記念館には、約1700点の遺品が展示されており、年間約7万人余りが全国から訪れています。

駐屯地内には今でも旧軍・予科練時代の施設等が残っています。

予科練施設



号令台



旧医務科



士官宿舎



常在戦場の碑

学校の紹介



開設記念行事



土浦駐屯地は、毎年秋に開設記念行事を開催しており、式典及び各種アトラクション等が実施されます。



4月 一般開放



予科練慰霊祭



曹長会活動



郵外行事太鼓支那



広報

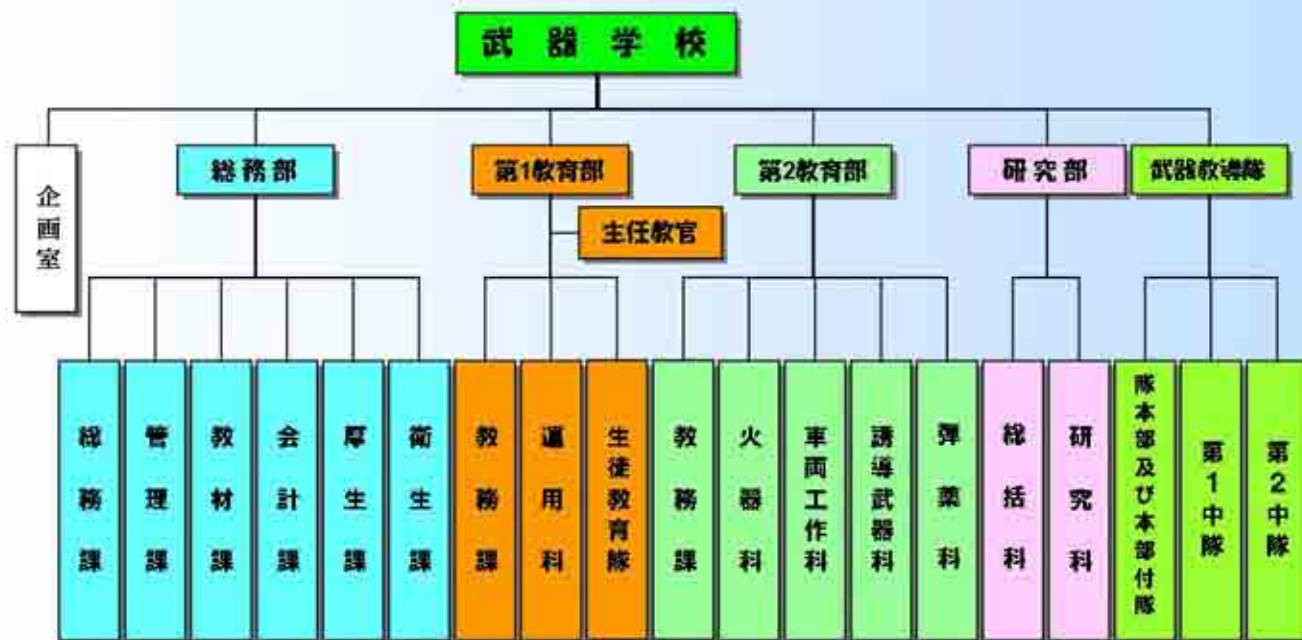


展示

武器学校には、自衛隊の新旧装備品及び旧軍で使用された貴重な装備品等が展示されています。



編成



本校は、昭和27年創設以来、関係各方面のご支援、ご協力を得て、新しい時代への対応と創造を目指し、武器科職種のメッカとして限りなき前進を続けており、教育内容及び体系も逐次充実し、部隊等及び学生の期待に十分応え得るよう努力しています。平成18年度末の学校改編により第1教育部、第2教育部の2個教育部に移行しました。

校風



武器科シンボルフラッグ

進取着実（目標に向かって、一步一步落ち着いて前進し、先行性と業務の完遂を期すること。）科学精神（技術者に必要な精神要素として理論的、体系的及び合理的な考え方を実践し、あらゆる困難を克服すること。）を校風としています。

見学の案内

概況

武器学校は、常磐線土浦駅から南へ約5km、風光明媚な霞ヶ浦湖畔に位置し、名峰筑波山を北に望む恵まれた環境にあります。

また、駐屯地には、旧海軍予科練記念館(園)を有し歴史と伝統を伝えています。

雄翔館

見学時間

毎日午前9時30分から午後4時30分まで開館しています。

アクセス



☆JR土浦駅からバス15分
関鉄バス

「阿見中央公民館行き」

JRバス

「江戸崎行き」「佐原行き」

いずれも「武器学校前」で下車してください。

☆常磐自動車道桜土浦LCから阿見・美浦・土浦方面車線を直進し、東へ約6Km

お問い合わせ

見学・自衛隊志願等のお問い合わせは総務部広報班へ

〒300-0301 茨城県稲敷郡阿見町青宿121-1

陸上自衛隊 土浦駐屯地 総務部広報班

Tel 029-887-1171

武器学校オフィシャルサイト http://www.mod.go.jp/gsdf/ord_sch